

## STAGE+を楽しむ(301)(HP 収載)

### —デスナーのピアノ協奏曲—

#### 1. 始めに

前報(300)に引き続き、STAGE+のアリス=紗良・オットとマルヴィッツのデスナーのピアノ協奏曲の演奏の試聴を実施します。

#### 2. 試聴音源

今回は、STAGE+のアリス=紗良・オットとマルヴィッツのデスナーのピアノ協奏曲の演奏を選びました。

アリス=紗良・オットがマルヴィッツの指揮でデスナーのピアノ協奏曲を演奏  
コンツェルトハウス・ベルリン

収録日: 2025 年 9 月 5 日

ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団と 2023 年から首席指揮者を務めるヨアナ・マルヴィッツは、伝統と革新を融合させた華麗なプログラムでシーズンの開幕を飾ります。前半で演奏されるのは、ラヴェルの人気作《ボレロ》とアメリカの作曲家ブライス・デスナーによるピアノ協奏曲。「真の光輝と熱狂」(ガーディアン誌)と評されたこの協奏曲は、今回ソリストを務めるアリス=紗良・オットのために書かれました。コンサートの後半では、アンナ・メレディスの情感豊かな《ノーティラス (Nautilus) 》とベートーヴェンの交響曲第 1 番をお聴きいただけます。マルヴィッツと同楽団による、ベートーヴェン没後 200 年となる 2027 年に向けたプロジェクトが始動する瞬間をお見逃しなく。

ソリスト:

アリス=紗良・オット(ピアノ)

演奏:

ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団

指揮:

ヨアナ・マルヴィッツ

曲目:

モーリス・ラヴェル 《ボレロ》 M. 81

ブライス・デスナー ピアノ協奏曲

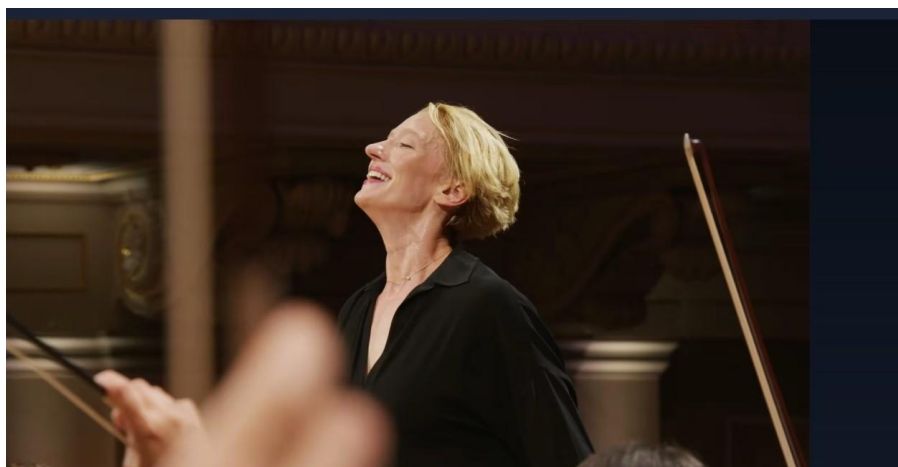
アリス=紗良・オット(ピアノ)

ブライス・デスナー ジャックとブリュヌのための子守歌

アリス=紗良・オット(ピアノ)

アンナ・メレディス 《ノーティラス (Nautilus) 》

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン 交響曲第1番ハ長調 op. 21



### 3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結しています。また、ルーター→スイッチングハブ間の LAN 接続に OPT ISO BOX を適用し、OPT ISO BOX の AC アダプターの DC ケーブルに FX Audio の Petit Susie Solid State を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。今回、スイッチングハブ→PC 間 LAN 接続は、LAN iPurifier Pro の交換後に元に戻しています。

今回は、PC の受信から GPS-777 クロック入力 of 修理済の Brooklyn DAC+ に送り出しています。また、下記のとおり、PC と Brooklyn DAC+ の間の介在は、iPurifier USB からインフラノイズの USB アキュライザーに交換しました。なお、ブツブツノイズが出る場合は内部クロックにしています。

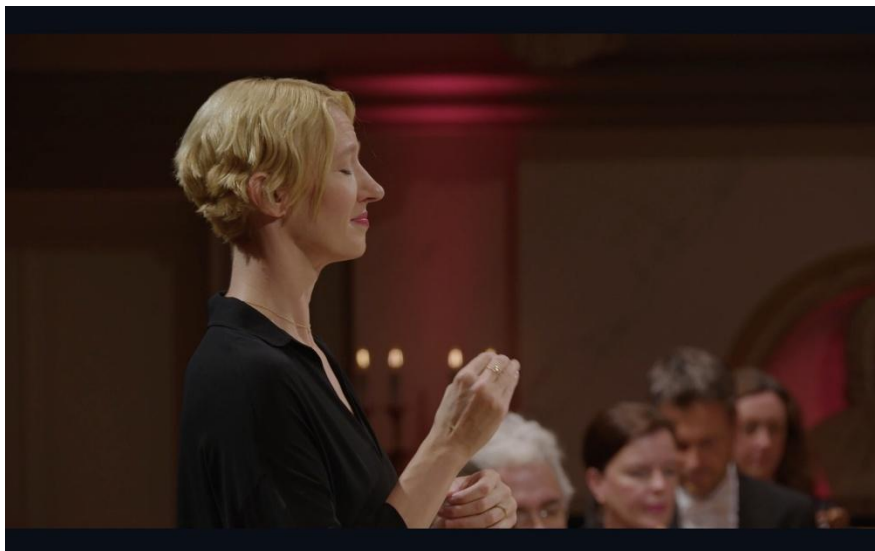
ラヴェルの《ボレロ》は、お馴染みの曲です。木管から金管そして弦のパートへと受け渡されて、総奏の爆発に進みますが、終始小太鼓のリズムや低弦のピチカートが進行をリードします。

デスナーのピアノ協奏曲は、初めて聴く曲で、デスナーはギタリストでもありバンドも組み、クラシックの現代音楽の作曲もするという現代の音楽家ですが、現代音楽らしくなく、オットのピアノが爽やかにそして軽やかに演じていきます。演奏終了後ステージに現れたのがデスナーのようです。

デスナーのジャックとブリュヌのための子守歌は、アンコール曲で、子守歌らしく静かに眠りを誘うような表情です。

メレディスの《ノーティラス (Nautilus) 》は、これも初めて聴く曲で、重厚で金管や打楽器が活躍します。

ベートーヴェンの交響曲第1番は、あまり演奏される機会がありませんが、古典派のような落ち着いた軽やかな曲です。



#### 4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した LAN iPurifier Pro を適用し、GPS-777 クロック入力の Brooklyn DAC+ に送り出し、PC と Brooklyn DAC+の間には USB アキュライザーに交換した結果、上記のさまざまな表情の曲の様子がよく分かりました。USB アキュライザーがあれ

ば、外部クロック（WCK）は要らないくらいです。

以上